

## 調査計画

### 1 調査の名称

歯科疾患実態調査

### 2 調査の目的

本調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、8020運動(歯科保健推進事業等)の種々の対策の効果についての検討や、歯科口腔保健の推進に関する基本的事項及び健康日本21（第二次）において設定した目標の達成度等の判定を行い、今後の歯科保健医療対策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 3 調査対象の範囲

#### (1) 地域的範囲

全国

#### (2) 属性的範囲

満1歳以上の世帯員

### 4 報告を求める者

#### (1) 数

19,000人（母集団126,090,047人（満1歳以上総人口））

#### (2) 選定の方法（☐全数 ☒無作為抽出 ☐有意抽出）

国民健康・栄養調査において設定される地区（国勢調査の調査区から層化無作為抽出した全国475地区）から、無作為に抽出した150地区内の満1歳以上の世帯員を報告者とする。（150地区内の満1歳以上の世帯員総数は約19,000人）。

### 5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

#### (1) 報告を求める事項

- 1) 性別
- 2) 生年月日
- 3) 歯や口の状態
- 4) 歯ブラシの使用状況（歯をみがく頻度）
- 5) 歯や口の清掃状況
- 6) フッ化物応用の状況
- 7) 顎関節の自覚症状

- 8) 歯の状況
- 9) 補綴の状況
- 10) 歯肉の状況(歯周ポケット、歯肉出血)
- 11) 歯列・咬合の状況(歯列の叢生・空隙、オーバースタイル・オーバージェット、正中のずれ)

(2) 基準となる期日又は期間

調査実施年の10月又は11月中の任意の1日

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織

厚生労働省一都道府県、保健所設置市、特別区一調査員一報告者

(2) 調査方法 (■調査員調査 □郵送調査 □オンライン調査 □その他 (                      ) )

調査対象地区の世帯員を会場に集め、調査員(歯科医師、歯科衛生士等)は報告者が記載した内容を確認するとともに、歯科医師である調査員による口腔内診査及び問診を行うことにより、調査票を作成する。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

5年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

調査実施年の10月1日～11月30日

8 集計事項

別添資料の結果表一覧のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法

概要及び結果表とも、インターネット(厚生労働省HP及びe-Stat)及び印刷物により公表する。

(2) 公表の期日

概要については調査実施翌年6月、結果表については同年11月に行う。

10 使用する統計基準

本調査は歯科疾患を対象とした調査であり、調査対象の範囲の画定及び集計結果の表示に、統計基準を用いる余地が小さいことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

- ・記入済み調査票：1年
- ・調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：常用

(2) 保存責任者

厚生労働省医政局歯科保健課長

# 平成28年歯科疾患実態調査 結果表一覧

(全75項目)

## 被調査者数 (4項目)

1	被調査者数, 性・年齢階級別
2	被調査者数, 性・年齢別
3	被調査者数の推移(1957～2016年), 年齢階級別
4	被調査者(人数・割合), 地域・性・年齢階級別

## 歯や口の状態 (2項目)

1	歯や口の状態, 性・年齢階級別(1歳以上)
2	歯や口の状態, 地域・性・年齢階級別(1歳以上)

## 歯ブラシの使用状況(歯をみがく頻度) (3項目)

1	歯ブラシの使用状況, 性・年齢階級別(1歳以上)
2	歯ブラシの使用状況の推移(1975～2016年), 総数(1歳以上)
3	歯ブラシの使用状況(毎日2回以上歯をみがく者の人数・割合), 地域・性・年齢階級別(1歳以上)

## 歯や口の清掃状況(2項目)

1	歯や口の清掃状況, 性・年齢階級別(1歳以上)
2	歯や口の清掃状況, 地域・性・年齢階級別(1歳以上)

## フッ化物応用の状況 (3項目)

1	フッ化物応用の経験の有無, 性・年齢別(1～14歳)
2	フッ化物塗布の経験者の割合の推移(1969～2016年), 総数(1～14歳)
3	フッ化物応用の経験の有無, 地域別(1～14歳)

## 顎関節の自覚症状 (1項目)

1	顎関節の自覚症状(大開閉口時に雑音を自覚している者, 関節痛を自覚している者)(人数・割合), 性・年齢階級別(6歳以上)
---	---

## 乳 歯 (11項目)

1	う歯の有無とその処置状況(人数・割合), 性・年齢別(1～14歳・乳歯)
2	う蝕有病者率・未処置歯保有者率の推移(1957～2016年), 年齢別(1～14歳・乳歯)
3	健全歯・未処置歯(d歯)・処置歯(f歯)・df歯数の1人平均値およびその割合, 性・年齢別(1～14歳・乳歯)
4	df歯数・d歯数・f歯数の1人平均値およびパーセンタイル値, 年齢階級別(1～14歳・乳歯)
5	1人平均健全歯数(シーラント有無別)・処置歯数(処置の内容別)・未処置歯数(う蝕の程度別), 年齢階級別(1～14歳・乳歯)
6	1人平均df歯数の推移(1957～2016年), 年齢別(1～14歳・乳歯)
7	df歯率, 歯種・年齢別(1～14歳・乳歯)
8	シーラント保有者(人数・割合), 性・年齢別(1～14歳・乳歯)
9	シーラント保有者(人数・割合), 地域・性・年齢別(1～14歳・乳歯)
10	1人平均シーラント歯数の推移(1993～2016年), 年齢別(1～14歳・乳歯)
11	う歯の状況(人数・割合), O・A・B・C1・C2型分類・性・年齢別(1～4歳・乳歯)

## 乳歯+永久歯 (2項目)

1	う歯の有無とその処置状況(人数・割合), 性・年齢別(5～14歳・乳歯+永久歯)
2	1人平均う蝕経験歯数(df歯数・DMF歯数), 年齢別(5～14歳・乳歯+永久歯)

## 永久歯 (22項目)

1	う歯の有無(人数・割合), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
2	う歯の処置状況(人数・割合), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
3	処置歯・未処置歯のある者の割合および未処置歯保有者率の推移(1957～2016年), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
4	健全歯・未処置歯(D歯)・処置歯(F歯)・喪失歯(M歯)・DMF歯数の1人平均値およびその割合, 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
5	DMF歯数の1人平均値およびパーセンタイル値, 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
6	1人平均健全歯数・処置歯数(処置の内容別)・未処置歯数(う蝕の程度別), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
7	1人平均DMF歯数の推移(1957～2016年), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
8	DMF歯率, 歯種・年齢階級別(5～44歳・永久歯)
9	シーラント保有者(人数・割合), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
10	シーラント保有者(人数・割合), 地域・性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
11	1人平均シーラント歯数の推移(1993～2016年), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
12	1人平均現在歯数, 無歯顎者・現在歯20本以上の者・現在歯24本以上の者・喪失歯のある者(人数・割合), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)

13	1人平均現在歯数・喪失歯数, 年齢階級別(15歳以上・永久歯)
14	現在歯のある者(人数・割合)(現在歯数の頻度分布), 歯数区分・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
15	現在歯数の分布(パーセンタイル値), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
16	1人平均現在歯数の推移(1957～2016年), 年齢階級別(15歳以上・永久歯)
17	無歯顎者率の推移(1975～2016年), 年齢階級別(15歳以上・永久歯)
18	現在歯20歯以上の者の割合の推移, 年齢階級別(1975～2016年)(45歳以上・永久歯)
19	1人平均現在歯数, 地域・性・10歳区分年齢階級別(5歳以上・永久歯)
20	無歯顎者・現在歯20歯以上の者, 現在歯24歯以上の者・喪失歯のある者(人数・割合), 地域・性・10歳区分年齢階級別(15歳以上・永久歯)
21	1人平均喪失歯数, 地域・10歳区分年齢階級別(5歳以上・永久歯)
22	現在歯のある者の割合, 歯・性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)

#### 補綴の状況 (5項目)

1	補綴物を装着している者(人数・割合), 性・年齢階級別(15歳以上・永久歯)
2	補綴完了・一部完了・未処置等の者(人数・割合), 性・年齢階級別(15歳以上・永久歯)
3	補綴完了者の割合の推移(1963～2016年), 年齢階級別(15歳以上・永久歯)
4	補綴物数, 補綴歯数, 要補綴物数, 要補綴歯数, 性・年齢階級別(15歳以上・永久歯)
5	喪失歯の補綴状況(1人平均値), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)

#### 歯周疾患 (8項目)

1	歯肉の所見の有無(CPI個人最大コード), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
2	歯肉の所見の有無(CPI個人最大コード)の年次比較(2005, 2016年), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
4	CPI最大コード3以上の者(人数・割合)(コードX除外)の年次比較(2005, 2016年), 年齢階級別(5歳以上・永久歯)
6	CPI個人最大コード3以上の者(人数・割合)(コードX含む)の年次比較(2005, 2016年), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
7	CPI個人最大コード別の1人平均分画数および割合(コードX含む), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
8	CPI個人最大コード別の1人平均分画数および割合(コードX含む)の年次比較(2005, 2016年), 性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)

#### 歯列・咬合の状況 (10項目)

1	歯列の状況(叢生), 性・年齢階級別(12～20歳)
2	歯列の状況(叢生)の年次推移(1999～2016年), 年齢階級別(12～20歳)
3	歯列の状況(空隙), 性・年齢階級別(12～20歳)
4	歯列の状況(空隙)の年次推移(1999～2016年), 年齢階級別(12～20歳)
5	咬合の状況(オーバージェット), 性・年齢階級別(12～20歳)
6	咬合の状況(オーバージェット)の年次推移(1999～2016年), 性・年齢階級別(12～20歳)
7	咬合の状況(オーバースト), 性・年齢階級別(12～20歳)
8	咬合の状況(オーバースト)の年次推移(1999～2016年), 性・年齢階級別(12～20歳)
9	正中のずれ, 性・年齢階級別(12～20歳)
10	正中のずれの年次比較(2005, 2016年), 性・年齢階級別(12～20歳)

#### 一人平均現在歯・喪失歯数(永久歯) (1項目)

1	現在歯数および喪失歯数(1人平均値), 処置の内容・う蝕の程度・補綴状況・性・年齢階級別(5歳以上・永久歯)
---	--

#### 一人平均現在歯(乳歯) (1項目)

1	現在歯数(1人平均値), 処置の内容・う蝕の程度・性・年齢別(1～14歳・乳歯)
---	--

## 推計方法・目標精度・回収率

- ・ 推計方法

集計結果は回答の単純積算であり、推計は加えていない

- ・ 目標精度

平成 23 年歯科疾患実態調査の結果を参照し、目標精度（標本誤差率）を 10% に設定する。

- ・ 回収率

前回と同年に実施された国民健康・栄養調査における回収率実績と同程度を想定回収率に設定する。